

1 調査目的

- ・ 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・ 県教育委員会及び市町教育委員会が、自らの子供の体力向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・ 各学校が個々の児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の概要

(1) 実施児童生徒数（国・公・私立学校）

小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年（全国：990,165人）

中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年（全国：923,980人）

* 報告は県内の公立小学校5年生（29,003人）、中学校2年生（26,254人）

(2) 調査の内容

ア 児童生徒に対する調査（実技調査実施期間4月～7月末）

(ア) 実技テスト調査

		テスト項目						
小学校 5年生	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャトルラン ※1	50m走	立ち 幅とび	ソフトボール 投げ
中学校 2年生					20mシャトルランか 持久走 ※2 の選択			ハードボール 投げ

※1 20m シャトルラン：一定の間隔で鳴る電子音に従って20mを走り、折り返し回数を測定

※2 持久走：男子は1500m、女子は1000m

○ 評価基準表

	A	B	C	D	E
小学校5年生	65点以上	58～64点	50～57点	42～49点	41点以下
中学校2年生	57点以上	47～56点	37～46点	27～36点	26点以下

※ 各実技テストの結果を10点満点で換算し、合計80点満点で上記基準表に基づき、A～Eの評価を判定

(イ) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査

イ 学校に対する質問紙調査

子供の体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

ウ 教育委員会に対する調査

子供の体力向上に係る施策等に関する質問紙調査

3 調査の結果

(1) 種目別結果

種別	比較	体力合計点 (点)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (回)	持久走 (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ボール 投げ (m)	
小学5年生	男子	R4	51.86	15.84	18.34	32.52	40.57	/	47.49	9.53	150.74	19.52
		R5	51.98	15.73	18.51	32.74	40.60		48.02	9.52	150.79	19.70
		全国	52.60	16.13	19.00	33.99	40.61		46.91	9.48	151.16	20.51
	女子	R4	54.37	15.86	17.45	37.21	39.09	/	38.95	9.69	145.03	13.40
		R5	54.23	15.86	17.61	37.48	38.89		38.28	9.72	145.10	13.31
		全国	54.29	16.02	18.05	38.47	38.74		36.81	9.71	144.34	13.22
中学2年生	男子	R4	41.85	28.71	26.12	45.08	52.04	403.31	79.49	8.01	199.23	20.62
		R5	41.75	28.41	26	44.92	51.89	401.45	78.22	7.95	199.86	20.49
		全国	41.18	28.98	25.71	44.04	51.19	409.92	77.76	8.01	196.97	20.32
	女子	R4	49.36	23.43	22.08	47.36	46.76	295.35	53.93	8.87	171.55	13.13
		R5	48.82	23.15	21.90	47.41	46.18	298.38	51.27	8.85	171.59	12.99
		全国	47.08	23.12	21.53	46.26	45.65	307.02	50.46	8.95	166.21	12.36

※網掛けは前年度より記録が向上

※○：県の記録が「全国平均以上」

●：県の記録が「全国平均未満」

(2) 結果の概要

ア 体力合計点について

- ・小学5年生女子、中学2年生男女で、体力合計点は前回調査（令和4年度）を下回った。
- ・小学5年生男子で、体力合計点は前回調査（令和4年度）を上回った。

イ 各学年、男女の記録について

小学5年生男子

体力合計点で0.12点向上した。種目別では上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m走、立ち幅とび、ボール投げの7種目が前回調査より向上した。握力は低下した。

小学5年生女子

体力合計点で0.14点低下した。種目別では反復横とび、20m シャトルラン、50m走、ボール投げが前回調査より低下した。握力が、前回調査と同じ、他の3種目では記録が向上した。

中学2年生男子

体力合計点で0.10点低下した。種目別では握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、ボール投げが前回調査より低下した。他の3種目では記録が向上した。

中学2年生女子

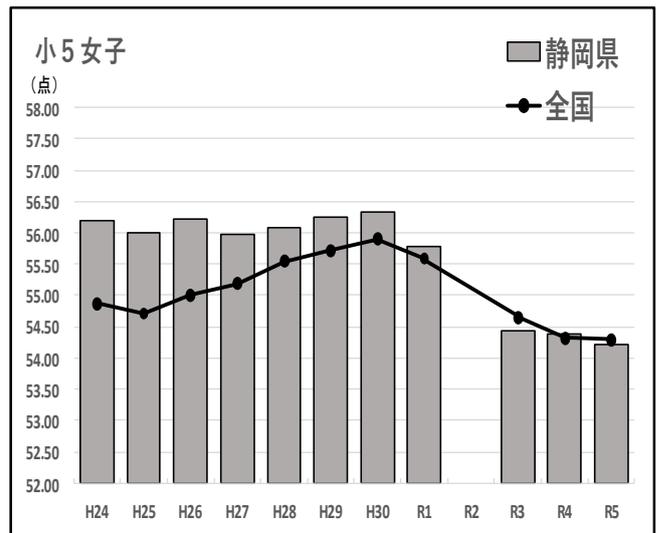
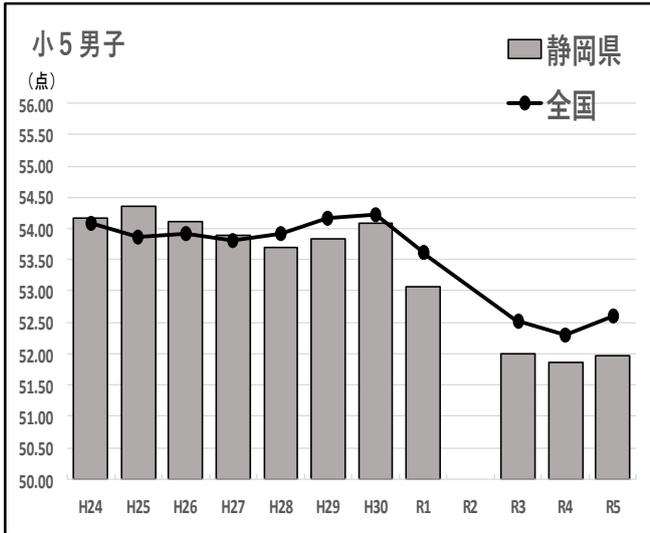
体力合計点で0.54点低下した。小学5年生女子、中学2年生男子と比べて、体力合計点の低下が一番大きかった。種目別では握力、上体起こし、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、ボール投げが前回調査より低下した。他の3種目では記録は向上した。

(3) 体力合計点の推移について

小学5年生及び中学2年生の体力合計点（各テスト項目の得点を合計した点数の平均値）は、令和元年度から低下傾向を示し、コロナ禍で拍車がかかった状態が続いていた。小学5年生男女、中学2年生男子については、下げ止まりの傾向は見られるものの、中学2年生女子は、依然として低下傾向にある。（調査開始は平成20年度から）

ア 小学5年生の体力合計点の推移

令和5年度は県内小学5年生男子は昨年度よりもやや向上し、女子はやや低下した。回復の傾向が見られるが、コロナ前の水準には至っていない。また、男女ともに、全国平均を下回る結果である。

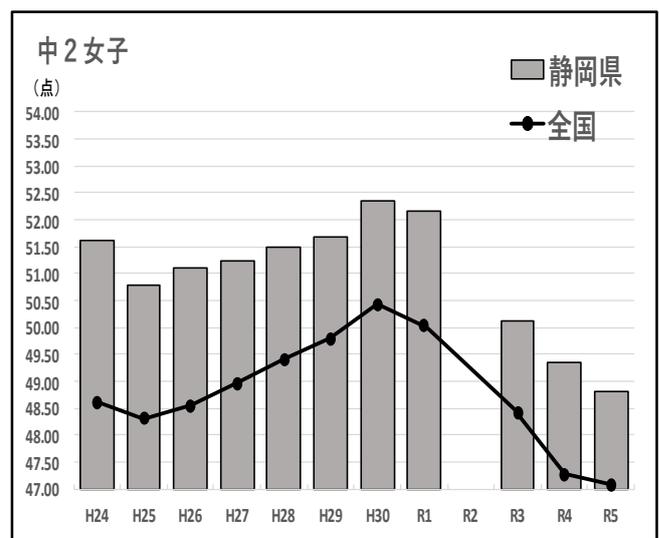
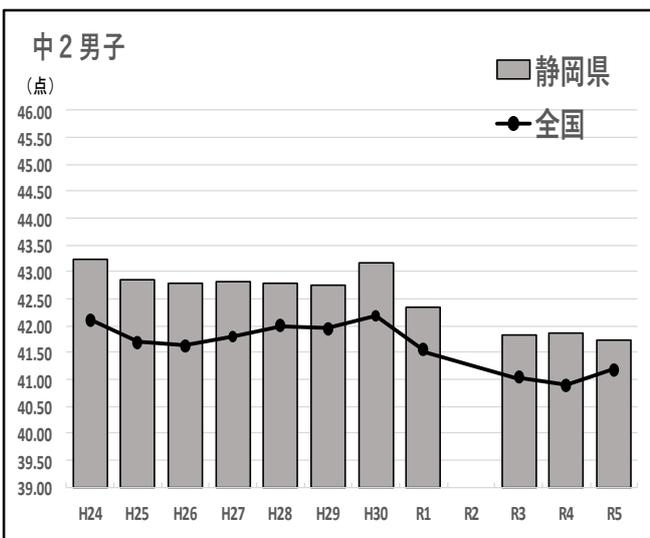


年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
静岡県	54.16	54.37	54.12	53.88	53.69	53.83	54.08	53.06	-	52.00	51.86	51.98

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
静岡県	56.20	56.00	56.21	55.98	56.08	56.25	56.33	55.78	-	54.45	54.37	54.23

イ 中学2年生の体力合計点の推移

令和5年度は県内中学2年生は男女ともに昨年度よりも低下した。女子の低下傾向は顕著である。一方、男女ともに、全国平均を上回る結果である。



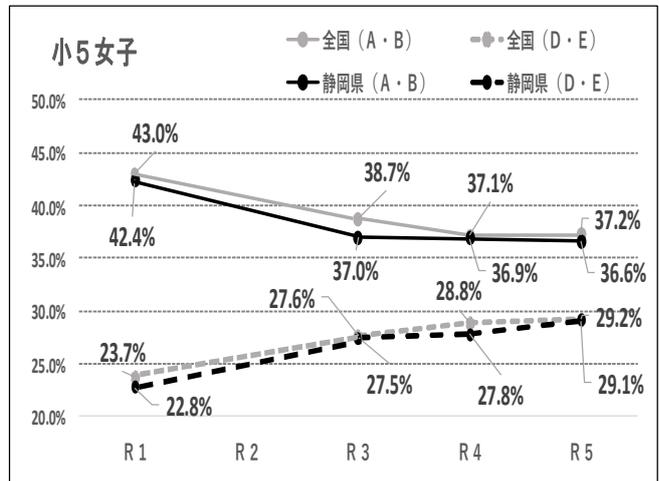
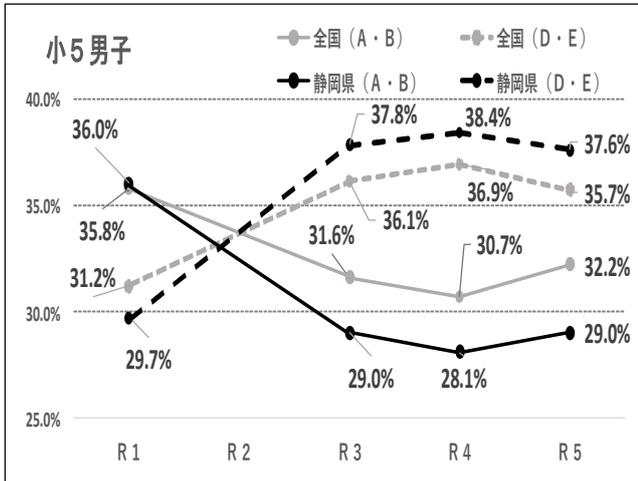
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
静岡県	43.24	42.85	42.79	42.83	42.79	42.77	43.18	42.34	-	41.83	41.85	41.75

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
静岡県	51.62	50.80	51.10	51.24	51.48	51.69	52.35	52.17	-	50.12	49.36	48.82

(4) 総合評価（段階別）におけるA・B層（体力上位層）とD・E層（体力下位層）の割合推移

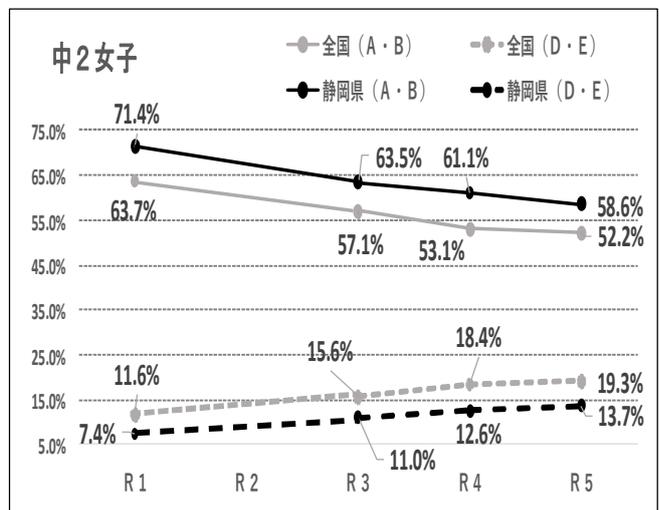
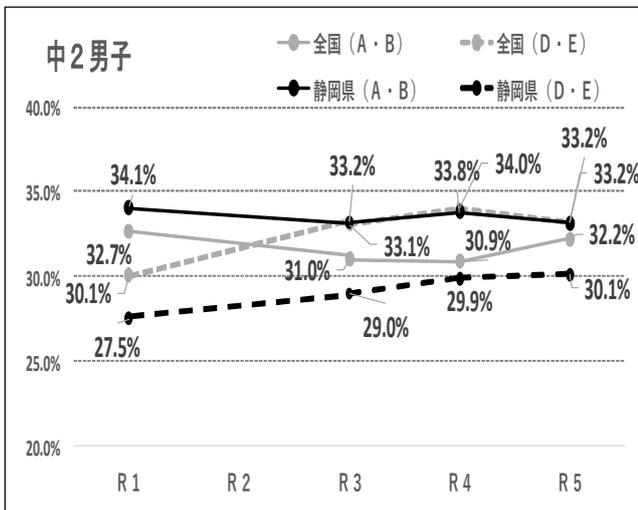
ア 小学5年生

令和5年度は、男子で令和3年度に、D・E層の割合がA・B層を上回る逆転現象が起こり、その傾向は続いているものの、A・B層の割合が増え、D・E層の割合が減った。女子はA・B層の割合は横ばいであるが、D・E層の割合は増えている。



イ 中学2年生

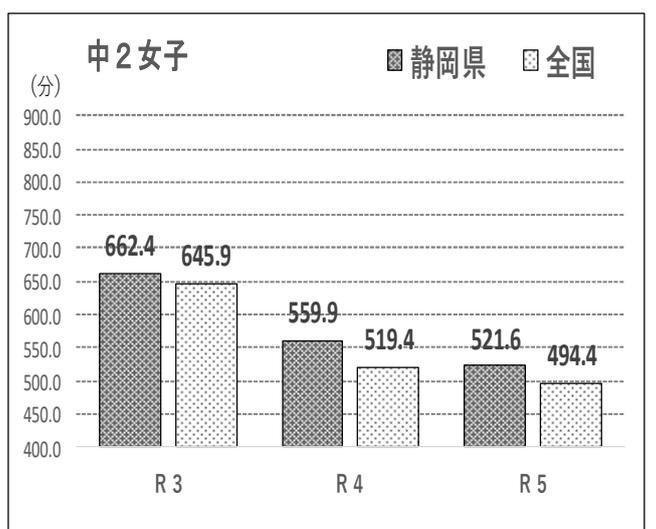
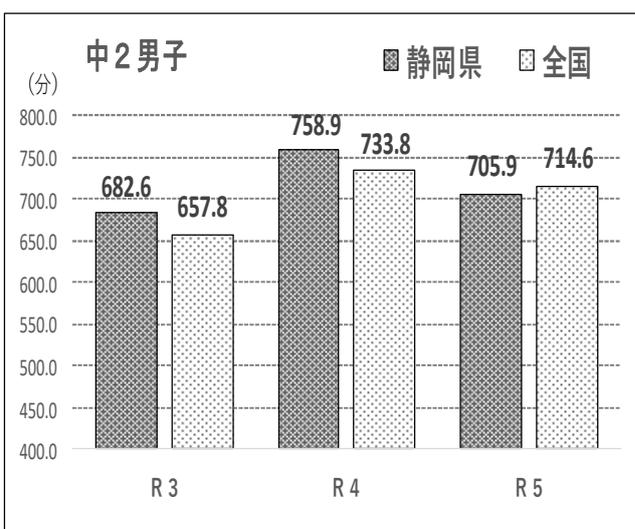
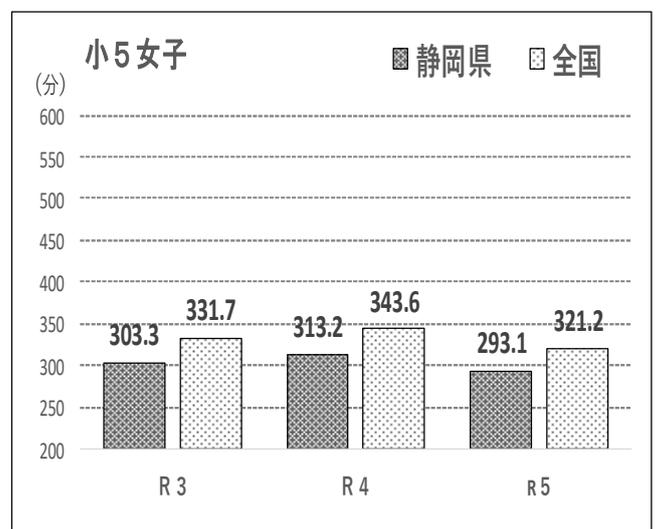
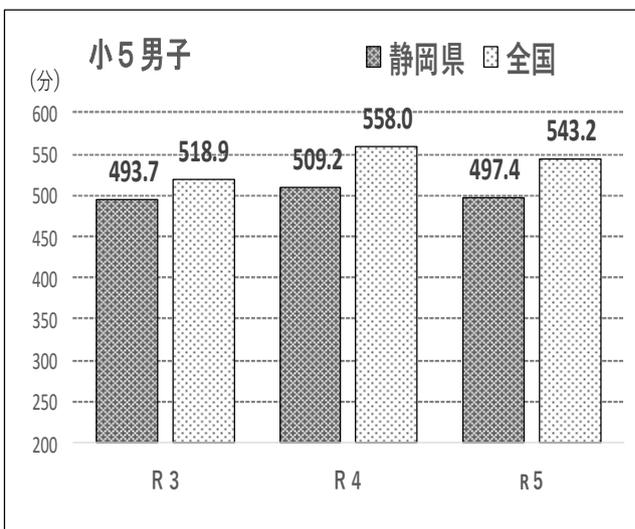
男女とも、A・B層の割合は、D・E層の割合より多い。D・E層の割合は横ばい傾向であるのに対し、A・B層の割合は減少傾向にある。



(5) 児童生徒の1週間の総運動時間（体育・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間）の推移
 令和5年度の総運動時間をみると、小学5年生は男女とも全国より1週間の総運動時間が短い。また、中学2年生女子は全国を上回っているが、男子は全国よりも短い。
 令和5年度と令和4年度の総運動時間を比較すると、小学5年生男子は11.8分、女子は20.1分、中学2年生男子は53分、女子は38.3分短くなっており、減少傾向が続いている。

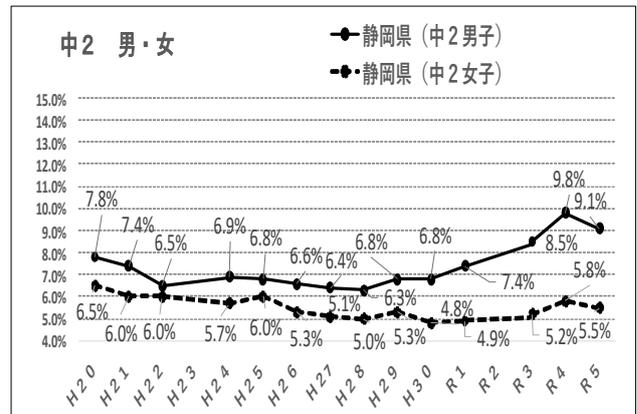
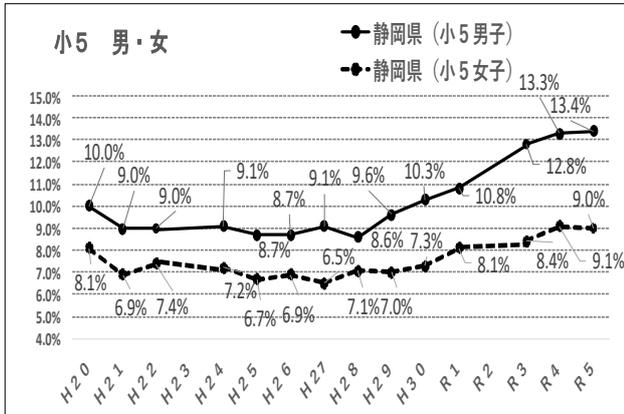
1週間の総運動時間（分）			R3	R4	R5
小学5年生	男子	静岡県	493.7	509.2	497.4
		全国	518.9	558.0	543.2
	女子	静岡県	303.3	313.2	293.1
		全国	331.7	343.6	321.2

1週間の総運動時間（分）			R3	R4	R5
中学2年生	男子	静岡県	682.6	758.9	705.9
		全国	657.8	733.8	714.6
	女子	静岡県	662.4	559.9	521.6
		全国	645.9	519.4	494.4



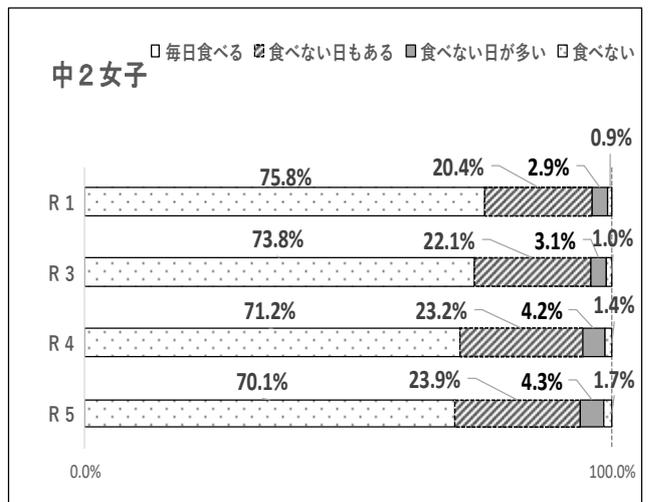
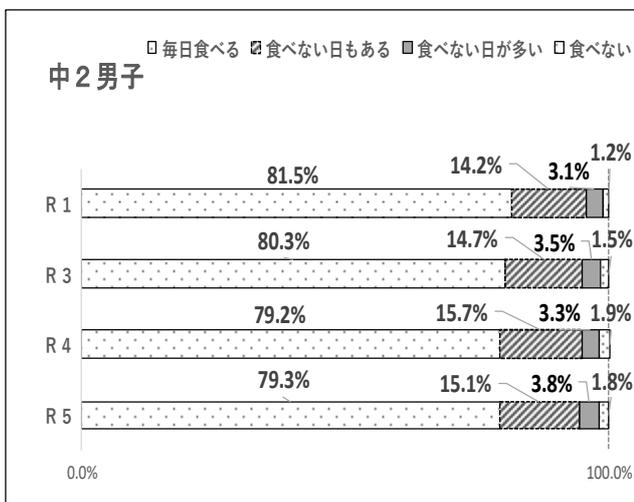
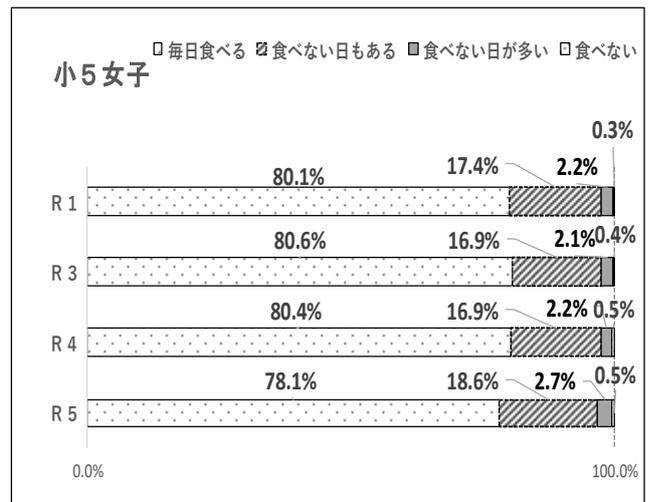
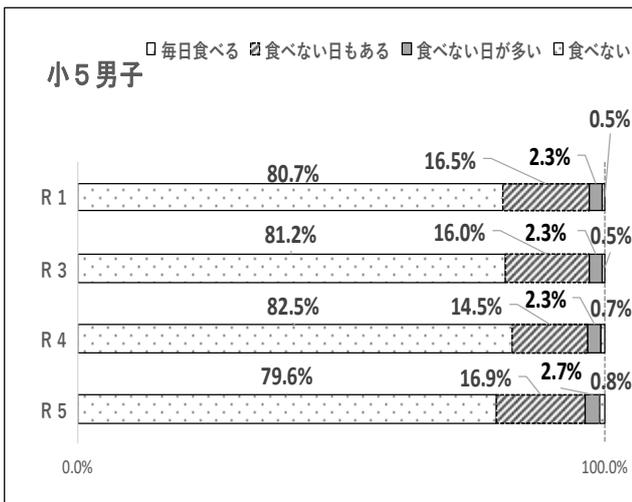
(6) 児童生徒の体格の状況

肥満である児童生徒の割合の経年変化によると、肥満の割合は、令和4年度と比較すると、小学5年生男女で横ばい、中学2年生男女は低下しており、改善傾向が見られる。



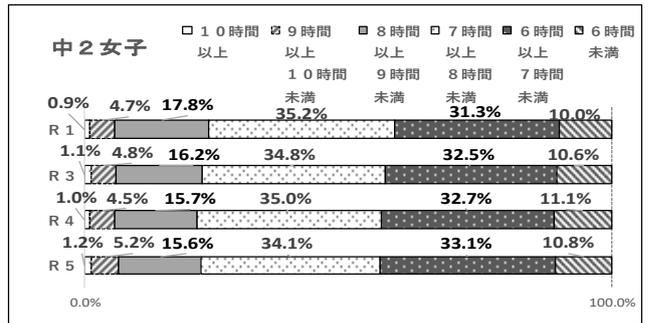
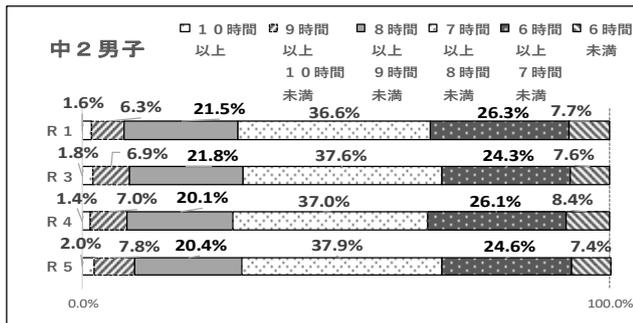
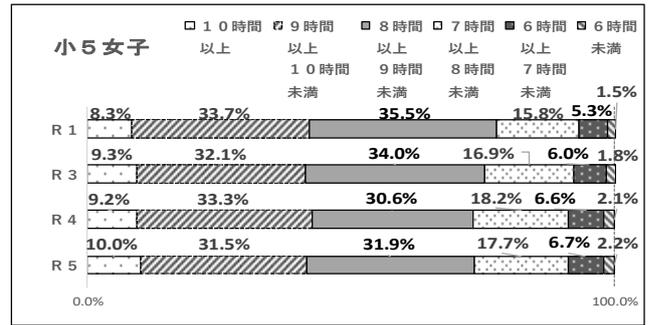
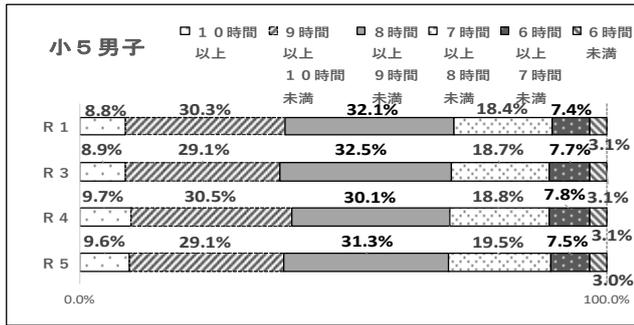
(7) 朝食の摂取

朝食は、「毎日食べる」児童・生徒の割合が、令和4年度と比較すると、小学5年生男女、中学2年生女子は低下し、中学2年生男子はほぼ同じ状況であった。



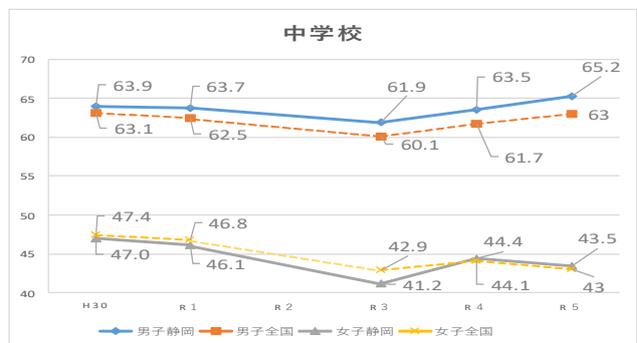
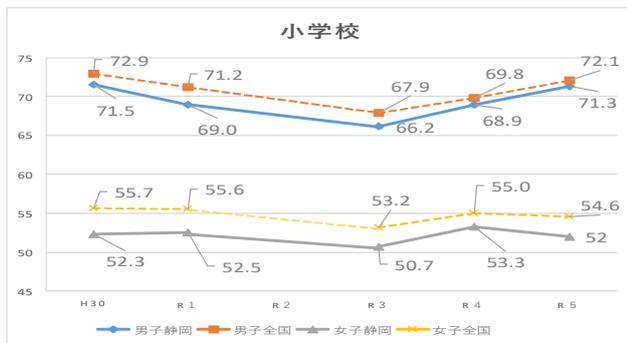
(8) 睡眠時間

「8時間以上」睡眠をとっている児童生徒の割合が、令和4年度と比較して、小学5年生男女はほぼ同じ状況で、中学2年生男女は増加している。



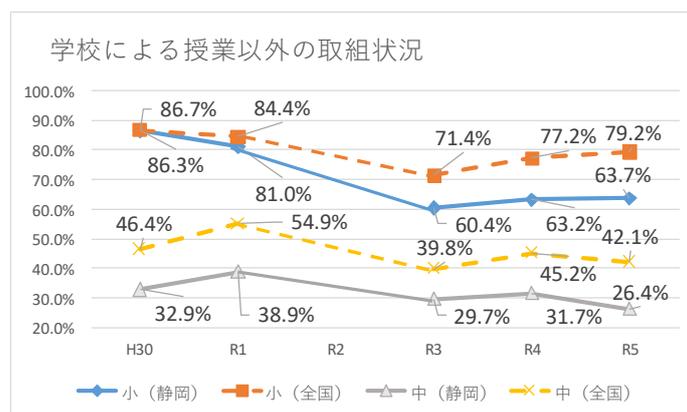
(9) 運動やスポーツに対する意識（「運動やスポーツをすることが好き」）

「運動やスポーツをすることが好き」と答えた児童生徒の割合は、令和4年度と比較し、小学5年生男子、中学2年生男子で増加し、コロナ前に戻りつつある。小学5年生女子、中学2年生女子は、低下した。



(10) 保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組

体育の授業以外で体力向上の取組を行った学校は、令和4年度と比較し、令和5年度は小学校で増加し、中学校は低下した。



1 体力合計点

- 小学5年生男女、中学2年生男子は下げ止まり傾向。
- 中学2年生女子は依然として、低下傾向。

2 段階別評価

小学5年生男子は、昨年度に引き続きD・E層（体力下位層）がA・B層（体力上位層）を上回っているが、少し改善傾向にある。小学5年生女子は、D・E層（体力下位層）が増加傾向にあり、中学2年生男女は、A・B層（体力上位層）が減少傾向にある。

3 体育・保健体育の授業を除く1週間の総運動時間

令和4年度と比較して、小学5年生男女、中学2年生男女ともに減少している。

4 生活習慣

- 肥満の割合、睡眠時間は令和4年度と比較して、改善傾向が見られる。
- 朝食の欠食は、増加傾向が見られる。

5 運動意識

運動やスポーツが好きと答えた児童生徒の割合は、小・中学校男子はコロナ以前に戻りつつあるが、小・中学校女子は戻っていない。

6 学校における体力・運動能力向上の取組状況

令和4年度と比較して、小学校は増加、中学校は減少している。

7 今後について

令和5年度の小学5年生は小学2年生で、中学2年生は小学5年生で、新型コロナウイルス感染症による休校等、行動制限により、著しく体力が低下し、令和5年度以降、行動制限は緩和されたものの、その低下を埋められない状況が続いている。

○体育の授業等において、運動好きな子供を増やす取組を推進

学校における体力向上の取組が増加し、「運動やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合回復につながっていることは、長期的な視点における子どもの体力向上において重要である。

○授業以外の運動時間を増やす取組を促進

子どもの体力は、運動習慣及び生活習慣が大きく影響することから、学校、地域、家庭が総ぐるみで、遊びや日常生活において体を動かす環境づくりに取り組む必要があり、子どもが自由に体を動かすことができる時間・空間・仲間を取り戻す取組が重要である。

○家庭で食事、睡眠の習慣づくりを中心とした生活習慣の改善

生活習慣の三大要素のうち、食事と睡眠はご家庭での習慣づくりが中心であり、家族で生活習慣について話していただく時間を設けていただきたい。

*本調査の結果により、総合的に子どもたちの体力の現状を把握し、運動習慣の定着や運動時間の延長につながるような取組を粘り強く実施し、体力向上につなげていくよう取り組んでまいります。